

社会福祉学科

社会福祉 専攻

2 年

科目名: 市民活動論				担当教員 氏名: 宮嶋 潔		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考	
1	2年次 前期	総合選択科目	講義	選択		
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 社会福祉士としての実務経験をもとに市民活動の実際について事例を交えて授業する。						
授業科目の学習教育目標の概要: 近年、ボランティア活動やNPO活動など、様々な市民活動が活発化しており、今後ますます市民活動の果たす役割は重要なものとなる。本科目では、ボランティア活動・NPO活動の歴史・理念や日本《富山県》におけるボランティア活動・NPO活動の現状や課題について学ぶことを通して、市民活動についての理解を深める。				キーワード ボランティア(活動)、奉仕活動、NPO(活動)、市民活動、ボランティアセンター、ボランティアコーディネーター		
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 7. 8. 10		
A 知識・理解力	市民活動(ボランティア・NPO活動含む)について、その意義や役割について理解することができる。					
C 論理的思考力	市民活動に関する知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。					
F チームワーク・リーダーシップ	他者と協調・協働して行動できる。					
G 倫理観	尊厳を支えるケア、人権擁護の視点に立った倫理を身につける。					
H コミュニケーション力	福祉専門職として他者への情報の伝達に必要な基礎的なコミュニケーション能力を身につける。					
成績評価の基準と方法: 以下の方法により評価し、学期および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 50 %	レポート: %	発表: 20 %	実技試験: %	その他: 30 %		
特記事項: 「その他:30%」では、授業態度について評価する。 本科目は、アクティブ・ラーニングの一環として、グループディスカッションを活用し、ボランティア活動プログラムの企画を行い、プレゼンテーションを行う。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 別に定めた日時で実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 実施するテストに評価を付けて学生に返却する。						
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)			
			学習内容		学習に必要な時間(分)	
①オリエンテーション～ボランティア活動と奉仕活動～			演習を振り返る		【復習】30分	
②ボランティア活動の歴史～COS運動とセツルメント運動～			演習を振り返る		【復習】30分	
③日本とアメリカのボランティア活動の違い			演習を振り返る		【復習】30分	
④日本国内のボランティア活動の現状と課題			演習を振り返る		【復習】30分	
⑤富山県内のボランティア活動の現状と課題			演習を振り返る		【復習】30分	
⑥ボランティアセンターとボランティアコーディネーター			演習を振り返る		【復習】30分	
⑦自分のまちのボランティア活動・中間まとめ			演習を振り返る		【復習】30分	
⑧世界のNPO			演習を振り返る		【復習】30分	
⑨日本のNPO			演習を振り返る		【復習】30分	
⑩NPOと法律			演習を振り返る		【復習】30分	
⑪NPOの存在意義とは			演習を振り返る		【復習】30分	
⑫NPO活動の実際～ゲスト・ティーチャーから学ぶ～			演習を振り返る		【復習】30分	
⑬市民活動とは			演習を振り返る		【復習】30分	
⑭市民活動の意義と課題			演習を振り返る		【復習】30分	
⑮福祉専門職と市民活動・まとめ			演習を振り返る		【復習】30分	
使用テキスト: 使用テキストはありません。				その他参考文献など: 「よくわかるNPO・ボランティア」川口清史, 田尾雅夫, 新川達郎【編】ミネルヴァ書房		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): ボランティア活動に興味や関心のある学生の受講を期待します。						